

## 平成25年度第1回印西市国際化推進懇談会 会議録

- 1 開催日時 平成25年5月28日(火) 午前10時から午前11時40分
- 2 開催場所 印西市役所附属棟25会議室
- 3 出席者 紫合 治 委員(会長)、吉原 久雄 委員(副会長)、山口 道博 委員、  
野田 幸一 委員、厚朴 賢正 委員、清水 武彦 委員、押尾 駿吾 委員、  
梅川 理恵 委員、池田 アン 委員、全 英愛 委員
- 4 欠席者 大塚 貞夫 委員、川村 和伸 委員
- 5 事務局 堀江企画政策課長、富澤主査、河合主査補、小林主任主事
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 (1) 平成24年度事業実績報告及び検討項目に関する経過報告について  
(2) 平成25年度実施事業について  
(3) その他
- 8 議事録(要点筆記)

### 事務局

本日は、お忙しい中お集まり頂き、ありがとうございます。

只今より、平成25年度第1回印西市国際化推進懇談会を開催致します。

会議に先立ちまして、委員の皆様へ、4点ほどご報告をさせていただきます。

1点目でございますが、会議録の署名人についてでございます。

本日の会議の会議録署名人につきましては、大塚委員にお願いするところですが、本日は欠席ですので、川村委員となりますが、まだ到着されておりませんので、野田委員にお願い致します。

また、会議の録音についてでございますが、会議録を作成する都合上、録音させていただきます。

2点目でございますが、傍聴者についてでございます。

本日の傍聴者は0名でございます。

3点目でございますが、委員の変更についてでございます。

江澤委員につきましては、平成25年4月15日の印西市小中学校校長会を経て退任されることとなりました。

つきましては、後任として、印西市立印西中学校長の野田幸一様にお願いすることとなりましたのでご報告致します。

4点目でございますが、事務局におきまして、4月の人事異動に伴い担当職員が変更となっておりますので紹介させていただきます。

#### 【事務局挨拶】

報告は以上でございます。

### 事務局

それでは会議に入らせて頂きます。

はじめに紫合会長よりご挨拶をお願い致します。

#### 【会長挨拶】

### 事務局

ありがとうございました。

続きまして、議事に入りますが、議長を設置要綱6条第1項の規定により会長にお願い致します。

- 議 長        それでは、議事の(1)平成24年度事業実績報告及び検討項目に関する経過報告について、事務局より説明をお願い致します。
- 【事務局説明】
- 議 長        (1)について、事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問のある方は挙手をお願い致します
- 委 員        平成24年度の事業実績報告において、あれをしたこれをしたと書かれておりますが、成果が抜けているので書いて欲しいと思います。また、外国人との共生社会づくりに関する研修会ということで、各課より1名程度出席されているようですが、その後の各課内の展開はどうなっていますか。例えば、研修に参加した人が課内で展開していくことになるのか、あるいは各課にお任せなのかをお聞きしたいと思います。
- 事務局        研修会の内容につきましては、課内で共有して頂くようお願いはしておりますが、事業にどう反映していくかまでは指示しておりません。
- 議 長        これは継続事業ですか。
- 事務局        その通りでございます。
- 議 長        今後の実施予定はどうなっておりますか。
- 事務局        庁内体制の充実ということで、これは基本的に職員の意識啓発を目的に行うものでございますので、できれば年1回は必ず実施してまいりたいと考えております。
- また、先ほど会議に参加してどのような成果があったかというお話がございましたが、それにつきましても、どのような成果があったかについて今後記載させて頂きたいと考えております。
- 委 員        研修会の中で、外国人の方が印西市に住んで思うこと・感じることにしてお話をしたということですが、どういった内容だったのでしょうか。様々なご意見があったと思いますが、その中から今後市として取り組むべき課題等が出てきたのでしょうか。
- 事務局        外国人3名というのは、本懇談会の委員である3名の方になります。内容としましては、本懇談会において出して頂いているご意見等が中心となっております。
- 議 長        講師として参加して、何か感じたことはございますか。
- 委 員        初めに市から説明をし、その後3名が順番で30分位ずつ話をしました。時間が少し伸びてしまいましたが、職員の方は最後まで真剣に聴いてくれていました。参加者は思ったより少なかったです。最後は時間の問題もあったと思いますが、交流や質問もなく終わりました。
- 委 員        話の内容についてお話ししますと、住んで良かったと思うことは、物産が非常に豊かで物価が安いということです。そのことをもっと宣伝した方が良いと思います。また、改善をお願いしたいと思ったことは、電車賃が高いことやバスの便数が少ない等、交通の不便さです。また、急患の受け入れ態勢が貧弱であるということも不便に感じますので、ぜひ強化して頂きたいという話をしました。

- 議長 ありがとうございます。  
市の職員の方に対して、要望も含めてお伝えしたということですね。  
それでは、研修会に参加した職員の方が各課において要望等を反映して頂けるように連絡をお願い致します。  
その他にございますか。
- 委員 市国際交流協会からのお願いですが、例えば、庁内体制の充実ということで研修会がある時は、差し支えなければ協会からも1、2名出席させて頂いて、皆さんの生の声をお聴きするとともに、市職員の考えも聴くことができれば有難いと思います
- 事務局 それにつきましては、可能と考えますので、次回実施する際にはお越し頂ければと考えております。
- 議長 その他にございますか。
- 委員 在住外国人だけに絞った年間予算を市はどれ位お持ちですか。予算が少なければターゲットを絞った事業ができないと思いますのでお聞きします。
- 事務局 外国人市民のための予算はこれだけとお話することはおそらくできないと思います。  
例えば、パンフレット作成時の多言語化等に係る予算につきましては、各課において所管しておりますので、漠然とした金額自体もなかなかお話しすることは難しいと考えております。
- 委員 各課においては予算の何パーセント位ですか。これにより力の注ぎ具合が分かると思いますのでお聞きします。
- 事務局 例えば、防災マップの作成に当たり、日本語版に付加して多言語版を作成した場合、いくらか金額が上がるとは思いますが、その部分がいくらかをはじき出すことはできないということで、ご理解頂きたいと思っております。
- 委員 プレゼンをする時に、対前年比でこういったものにこれだけ使いました、何パーセントを使いましたということにより、事実関係が良く分かります。
- 事務局 年度によっても変動があると思っておりますので、一概に何パーセントというのはなかなか難しいですが、できるだけ国際化を進めていきたいということで、庁内におきましても、各課に対しお願いをしているところでございます。
- 委員 今の質問の趣旨は、市の中で企画政策課が国際化推進のとりまとめをしているならば、全体のガイドライン位はきちんと把握しておく必要があるのではないかということの裏返しの質問をされたと推測しています。
- 議長 平成24年度においては、新しいことを行い予算も増えていると考えてよろしいですか。
- 事務局 平成24年度におきましては継続事業がほとんどでございまして、予算につきましても平成23年度とそれほど変わっておりません。予算が増えない中で新規事業を行う場合は、既存の事業を削って行うというような状況でございます。

- 議長 外国人との共生社会づくりに関する研修会はこれまでも行われていましたか。
- 事務局 平成24年度が初めてでございます。
- 議長 それでは、平成24年度事業は継続事業ばかりでなく、本懇談会からのご意見を反映した新規のものもあるということですね。
- 事務局 はい、中央駅前地域交流館への外国人市民向け情報コーナーの設置につきましては、本懇談会のご意見を反映させて頂き新規に実施しております。お金がかからないものにつきまして、少しずつ進めております。
- 委員 印西市として外国人のための事業を行ってきたと思いますが、東京都等よりも大分遅れていることから、本腰を入れて事業を充実させていこうということで、平成24年度より本懇談会を設置し、本懇談会の意見を活かしながら改善していくというのが本来の趣旨であると思っています。その認識が正しいならば、予算がないから新しいことはやらないのではなく、やるべきことであるという認識の下で、予算をきちんと取って頂き力を入れて取り組まないと、いつまでも痛くもかゆくもないということになってしまいます。この事業が本当にやるべきという認識があるならば、要望と予算を申請し使うべきところに使うということであれば効果が出ないと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。特に、本懇談会において毎回出てくる行政資料の多言語化はコストを伴うものだと思いますが、必要だという認識を持って頂かなければ進まないで、ぜひお願いしたいと思います。
- 委員 予算や事業の効果について話が出ていますが、検討項目に関する経過報告の2ページの、外国人市民への意向調査を実施するというところですが、予算計上ができないといってはじき出して良いものなのか疑問です。約1,000名いる外国人の方から支援のメッセージを受け取れる機会は、現在Eメールや行政書士による無料相談のみであり、彼らが意見を言えるチャンスが少ないと思います。国際化を積極的に進める中で、1年に1回でも意向調査をすることでいろいろやってきたことへの評価というものが見られると思いますので、意向調査を予算計上からはじき出してしまって良いものなのか疑問ですが、いかがでしょうか。
- 事務局 現在1,060名程度の外国人の方がお住まいであり、外国人の方がどういう考え方や悩みを持っているのかを把握するのが難しい中で、外国人市民への意向調査というのは絶好の機会だと思っていますので、必要性を十分に感じて企画政策課におきましても財政課と予算折衝を行いました。しかしながら、印西市におきましても限られた予算の中で行政体を運営して行くということで、教育、福祉、道路や下水道等のインフラ整備等いろいろある中で配分されることとなりますので、その辺はご理解頂きたいと思います。
- なお、先ほども申し上げましたが、委託ではなく違う方法により外国人市民の方の意見や考えを吸い上げていく方法を考えるということで、業者委託するのではなく職員がそういう意向調査を行うことができるかどうかも含めて、今後、検討してまいりたいと考えております。
- 委員 業者の方に頼むより、職員の方が中心になって行った方が良いと思います。
- 議長 ちなみに意向調査というのは予算的にいくら位ですか。

- 事務局 200万円位かかります。外国人向け意向調査の実績がある業者はほとんどなく、競り合っ  
て金額を下げるのが難しいことや、英語、中国語、韓国語に翻訳することで、通常の意向調  
査よりは金額が上がってしまいます。
- 議長 前回の意向調査は業者に委託したのですか。
- 事務局 前回の場合は、千葉県が実施したものに印西市も参加した形となりますので、印西市として  
実施したことはございません。
- 委員 過去のデータも大事だと思いますが、リアルタイムで外国人の方がどう思っているのかを拾  
える方法をしっかり検討して頂きたいと思います。
- 議長 業者を利用するのではなく、本懇談会等を利用して頂いて、外国人の方の意向を聴き出せる  
方法を検討して頂きたいと思います。  
他にございますか。
- 委員 平成24年度事業実績報告の1ページの、広報いんざい1日号(抜粋)英語版作成及び発行  
のところで、配布場所に個人12となっていますがどういうことでしょうか。
- 事務局 自宅への郵送希望者が12名ということでございます。これにつきましては、広報紙におい  
て、郵送希望者は企画政策課までご連絡くださいという広報をしております。
- 議長 これは無料ですか、有料ですか。
- 事務局 無料でございます。
- 議長 他にございますか。
- 委員 検討項目に関する経過報告の2ページの、児童館に語学ボランティアを配置するというところ  
で対応が書かれていますが、まず児童館に行くこと自体が難しいです。児童館に行っても言  
葉が通じない時にはこのような意見を出すことも難しいですので、外国人市民から何もないの  
で何もしないというのではなく、先に声をかけてもらいたいです。保健センターから配布され  
る健診案内のように、何らかの方法で児童館から外国人市民の方に向けて声をかけて頂きたい  
と強く思います。語学ボランティアがいなくても利用はできると思いますが、1、2時間何も  
話さずに赤ちゃんとだけ遊んで帰ってきたら次は行かなくなると思いますので、外国人市民か  
らの意見を待つのではなく、先に声をかけて頂けたら有難いです。
- 議長 児童館を利用する外国人市民には通訳は必要ないと思います。彼らに意見を聴くのではなく、  
利用したくても利用していない人たちの意見があるはずだということですので、その辺を検討  
して頂きたいと思います。
- 委員 松戸市のホームページを見ていて、市国際交流協会のバナーをクリックしたら外国人のため  
の全ての情報が入っていましたので、市国際交流協会の情報を外国人市民のための情報として  
一貫化したらいかがでしょうか。良いアイデアだと思います。外国人市民からの意見も良いで  
すが、先にいろいろなサービスを提供している他市等に問い合わせしてみるのも良いと思いま  
す。あと、言語について、佐倉市のホームページには自動翻訳機が活用されていて、英語、中国語、

韓国語の他に他の言語もあり、その言語をクリックするだけでそのまま翻訳されて出てきますので、ぜひ参考にしてみてください。

- 議 長 質の問題はありますが、ウェブ上にある無料翻訳ツールを利用する方法もあると思います。他にございますか。
- 委 員 学校では教育委員会より予算配分されますが、欲しいものがたくさんある中で優先順位を付けないと予算取りは難しい状況です。本懇談においていくつもご意見が出ていますが、優先順位を付けるようにすれば、企画政策課の方でも財政課に予算要求をする際に、本懇談会で第一優先順位として出た意見なので予算を付けて欲しいと言いやすいのではないかと思います。1度で無理でも、3、4年と続けて行けば実現は可能かと思えます。
- 議 長 この件は今後検討していきたいと思えます。他にございますか。
- 委 員 平成24年度事業実績報告の4ページの、児童・生徒に対する国際理解教育推進のところ、ALTの出身国が書かれていますが、出身国がジャマイカやガーナでもALTになれるのですか。
- 委 員 会社と契約しており、その会社が雇ったALTが派遣されてきます。
- 委 員 ALTは基本的に英語を母語として使用する人になるとは思いますが、それは関係ないのでしょうか。
- 委 員 それは会社に任せています。
- 事務局 ジャマイカやガーナは英語が共通語になっております。
- 委 員 わかりました。
- 議 長 他にございますか。
- 議 長 それでは、議事の(2)平成25年度実施事業について、事務局より説明をお願い致します。  
【事務局説明】
- 議 長 (2)について、事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問のある方は挙手をお願い致します
- 委 員 意向調査方法の検討が平成25年度となっておりますが、実際に行うのはいつになりますか。
- 事務局 印西市国際化推進方針の方針期間が平成24年度から平成27年度となっております、方針を見直す際には意向調査を実施したいと考えておりますので、遅くとも平成26年度には実施する予定でおります。
- 委 員 もともと平成25年度の予定となっておりますが、ずれるということですか。

- 事務局 その通りでございます。
- 議長 遅くとも平成26年度ということで、可能ならば今年度に行うということですか。
- 事務局 その通りでございます。
- 委員 前にも言ったと思いますが、国際化を推進する上で外国人の意向というのが前提になってくるとお思いますので、いつまでも時間をかけると中身が本当に要望に沿ったものか疑われますので、至急お願いします。
- 議長 完全のものではなく、早くということをお願いいたします。  
他にございますか。
- 委員 学校における国際理解教育の充実の中で、市立幼稚園及び小中学校における異文化理解講座と書かれておりますが、幼稚園はまだやったことがないですか。
- 事務局 大森幼稚園で行っております。
- 委員 地域における多文化共生意識の啓発の中で、ALTの異文化理解講座と書かれておりますが、ALTは英語圏出身者なので英語圏文化だけになってしまおうと思います。
- 事務局 印西市における外国人の方の出身地を見ましても、中国、韓国、フィリピン等、アジアの方が多いので、ALTに限定せず、一般のボランティアの方を講師としてお願いすることも可能だと思います。しかしながら、一般の方の場合は、ALTと違い人前で話すことに慣れていないという方もございますので、時間配分や講座内容の見直し等が必要になるものと考えております。
- 委員 前回、印西市立滝野小学校で異文化講座の講師として話をしましたが、いろいろ時間をかけて準備をしましたが講座時間が短すぎて準備したものを全部見せてあげられなかったのが、子供たちには足りないなと感じたものですから、もう少しゆっくり、今のALTの講座みたいなら良いと思いました。ALTの授業と国際理解の講座を良い方法で混ぜた感じで進められたらどうかと思います。
- 委員 一つのアイデアとして、派遣会社からALTを派遣して頂き、その上に通訳者をつけると非常にお金がかかります。小中学校で行う異文化理解講座のような場合は、ボランティアでも十分対応できると思います。私もこの前小学校で行いましたが、通訳なしで自分で紹介しましたので、これによりお金が大分節約できると思います。英語の授業は英語専門の先生がいますので、それプラス業者さんから専門的な先生に来て頂くというのは少しもったいない気がしますので、ボランティアの力を借りてコストを抑えるという発想を持って頂いても良いかと思えます。
- 議長 ALTによる異文化理解講座は、小中学校における異文化理解講座の一環ということでしょうか。
- 事務局 違います。

地域における多文化共生意識の啓発としての異文化理解講座は、一般の大人向けに行っておりますので、幼稚園や小中学校における異文化理解講座とは違います。

議長 それでは、一般向けの異文化理解講座ですが、英語で行う必要はありますか。

事務局 当講座につきましては、英語を学びながら文化も学ぶという目的で始めましたので、現在、英語で行っておりますが、当講座は本来、英語を学ぶ場ではなく様々な文化を学ぶ場でございますので、英語で行う必要はございませんし、講師をALTに限定する必要もございません。

委員 それぞれの講座において、テーマとなる国を変えて行っているわけですか。

事務局 ALTの出身地がほとんど同じであり、出身地紹介だと内容がかぶってしまう場合がありますので、あるテーマを決め、それについて出身地の考え方や文化等を含めてお話ししております。

委員 異文化講座は、実は私が紹介したのですが、今行っているものはこれで十分だと思います。印西市にお住まいで日本語が話せる外国人の方が小学生や中学生にお話ししても良いと思いますし、市役所に文化人類学者等が行ってお話ししても良いと思いますし、いろいろなパターンがあると思いますが、できれば、身近な人が講師となり面白おかしくお話しして頂けるよう企画するのが良いと思います。

議長 他にございますか。

委員 私は何回か外国人のアンケートに参加しました。2回は郵便で送られてきた質問に〇×で答えましたが、そこでは細かい意見を言えませんでした。それから、東京の方では、1時間半・3千円で、教育や医療等についての質問に答え、何に困っているか、どう思うかを話しました。印西市でも、通訳付きでいくつかの国の人を20、30人位集めてできると思います。他のアンケートや質問を参考にすれば職員でもできると思います。

議長 たくさんの人に意見を聴くという他に、インタビュー形式で詳細を聴くという方法もあるということです。

委員 その方が具体的な質問を聴けると思います。

事務局 確かに、今お話しされたように、直接外国人市民の方に聴き取り調査を行うことにより、当面の部分は聴き取れると思いますが、なかなか難しいところがございますので、どのような形でできるかにつきまして、今後、検討してまいりたいと考えております。

議長 他にございますか。

委員 外国人市民の本音を聴き取る方法として、外国人がボランティアとなって、印西市に住む同じ国の人の意見を聴き取るという方法もあると思います。それにより、書面で聴き取るより、もう少し細かく意見が聴き取れると思います。

議長 他にございますか。



議長 それでは、議事の（3）その他について、何かございますか。

事務局 平成25年度の会議日程について、ご連絡いたします。

今年度につきましては、本日の会議を含めまして3回を予定しております。2回目につきましては10月初旬頃を、3回目につきましては来年の1月か2月頃を予定しております。なお、会議内容につきましては、今年度における事業の実施状況報告及び来年度の予定事業等につきまして説明させて頂く予定でありますので、よろしくお願い致します。

議長 それでは、次回10月の会議において、予算の充実等の報告があると思いますので、その際に、先ほどの意向調査方法の検討状況についても報告頂きたいと思います。

委員 意向調査については、十分検討してこれで行こうと思っても、なかなかその通り成果が出るとは限らないので、トライアルアンドエラーで思いついたら実行していかないと進まないと思います。

委員 先ほど出ました優先順位ではないですが、意向調査は優先順位が高いと思いますので、報告を待ちたいと思います。

議長 10月の報告を期待したいと思いますので、よろしくお願い致します。

議長 他にございますか。

委員 市国際交流協会で総会を行いまして、そのご報告とお願いということで、総会資料と協会の新パンフレットをお配り致しますのでご覧ください。現在、理事が13、14名いますが、実際に活動しているのは2、3名という状況の中で、今年度は新しい一歩を踏み出すためにオールいんざいでやりたいと考えておりますので、皆様にはぜひ会員になって頂きたい、会員にならないまでも、いろいろな情報を教えて頂ければ有難いです。どうぞよろしくお願い致します。

議長 他にございますか。

議長 それでは、本日の議事については全て終わりましたので、進行を事務局にお返し致します。

事務局 ありがとうございます。

それでは以上をもちまして、平成25年度第1回印西市国際化推進懇談会を終了させて頂きます。

本日はお疲れ様でございました。

平成25年5月28日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

平成25年6月3日

会議録署名委員 野田幸一